

<再評価>

事業名 (箇所名)	広域河川改修事業(那賀川(和食・土佐))	担当課 担当課長名	河川整備課 森野 克也	事業 主体	徳島県
実施箇所	那賀郡那賀町				
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業				
事業諸元	全体延長L=2,000m、築堤417,000m ³ 、護岸10,500m ² 、道路橋4橋等				
事業期間	平成27年度～令和16年度(西暦2015年度～2034年度)				
総事業費(億円)	142億円 (うち床上浸水対策特別緊急事業 97億円)	残事業費(億円)	20.1億円		
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>過去の浸水実績</p> <p>①被災頻度:H26 台風11号(床下46棟,床上233棟,浸水面積70.7ha)</p> <p>②最大浸水戸数 :279戸[H26(台風11号)]</p> <p>③最大農地浸水面積:70.7ha[H26(台風11号)]</p> <p>・当該地区は、年平均降水量が2,000mmを超える多雨地域であり、台風や前線に伴う豪雨や局地的な大雨による水害の被害を受けている。</p> <p>・平成26年台風11号では、床下46棟、床上233棟などの浸水被害を被っており、平成27年度から「床上浸水対策特別緊急事業」に着手し、令和3年3月に暫定堤防の整備が完成した。今後は、上下流のバランスを勘案しながら完成堤防の整備を行う。</p> <p><達成すべき目標></p> <p>・河川整備計画目標規模(年超過確率1/50)の洪水を安全に流下させる。</p>				
便益の主な根拠	浸水軽減戸数:368戸 浸水軽減面積:78.6ha				
事業全体の投資効率性	基準年度		令和6年度		
	B:総便益(億円)	65,332.0	C:総費用(億円)	18979.0	B/C 3.4
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)		C:総費用(億円)		
	2,148.0		1669.0	B/C 1.3	
感度分析	残事業(B/C)		全体事業(B/C)		
	残事業費(+10%~-10%)	1.2 ~ 1.4	3.1 ~ 3.8		
	残工期(+10%~-10%)	1.3 ~ 1.3	3.5 ~ 3.4		
	資産(+10%~-10%)	1.4 ~ 1.2	3.8 ~ 3.1		
事業の効果等	<p>・河川整備計画目標規模の洪水に対して、浸水家屋の368戸が解消され、氾濫面積78.6haが軽減される。</p> <p>・また完成堤防の整備前には災害時要援護者が453人、最大孤立者数が627人、電力停止による影響人口が882人と想定されるが、完成堤防の整備によりこれらが解消される。</p> <p>・想定される最大クラスの降雨による浸水想定をH30年5月に作成・公表した。これにより住民の水害リスクに関する意識の向上を図った。</p>				
社会経済情勢等の変化	<p>地域の協力体制: 地域の協力体制は良好である。</p> <p>地域の事業に対する社会的評価: 暫定堤防の整備が完成したことで、浸水被害の軽減が期待されている。</p>				
事業の進捗状況	・平成27年度より事業に着手し、令和5年度末で進捗率は86%(事業費ベース)である。				
事業の進捗の見込み	・町と緊密に連携した情報共有や用地買収等に関する協力体制を整えることで、事業を推進する。				
コスト縮減や代替案立案等の可能性	他事業の残土の有効活用を行い、コスト縮減を図る。				
対応方針(案)	継続				
対応方針理由(案)	暫定堤防の整備により浸水被害が軽減されているものの、計画流量に対しては流下能力不足である。今後は上下流の整備の状況を勘案しながら、計画流量を安全に流下させるための完成堤防の整備を行う。				
その他					